

9月21日(土) 13:00~16:30

年金問題を考える！

全労連年金学習シンポジウム

金融庁が、老後の生活には年金だけでは足りないと、若いころからの資産形成を呼びかけました。政府が発表した骨太方針 2019 は、年金・介護・医療など社会保障のすべての分野で保険料の引き上げや給付の削減を提案しています。年金のマクロ経済スライドは 2040 年までに年金給付を 7 兆円もカットするしくみです。「いったい、どこまで自助努力が求められるのか・・・」怒りの声が広がっています。政府が社会保障・年金削減の言い訳としているのが「少子高齢化」、「社会保障のために消費税増税は仕方がない」のでしょうか。年金のあるべき制度について考えましょう。



問題提起 I

骨太方針、全世代型社会保障を斬る！

鹿児島大学教授 伊藤周平さん

問題提起 II

現行年金制度の問題点と最低保障年金制度について

立命館大学特任教授 唐鎌直義さん

特別報告

年金減額違憲訴訟と年金機構の諸問題について

弁護士 加藤健次さん

発言 女性年金受給者の立場から/青年労働者の立場から



会場 損保会館

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町 2-9 TEL: 03-3255-1299

老後の生活

2000 万円足りない？

働く人 4 割が非正規！

年金積立金 160 兆円
越え！

平均寿命男性 81.25 歳、
女性 87.32 歳

マクロ経済スライドって
なに？

40 年間保険料を払って
基礎年金月 6.5 万円

主催

全国労働組合総連合

〒113-8462 文京区湯島 2-4-4

TEL03-5842-5611

